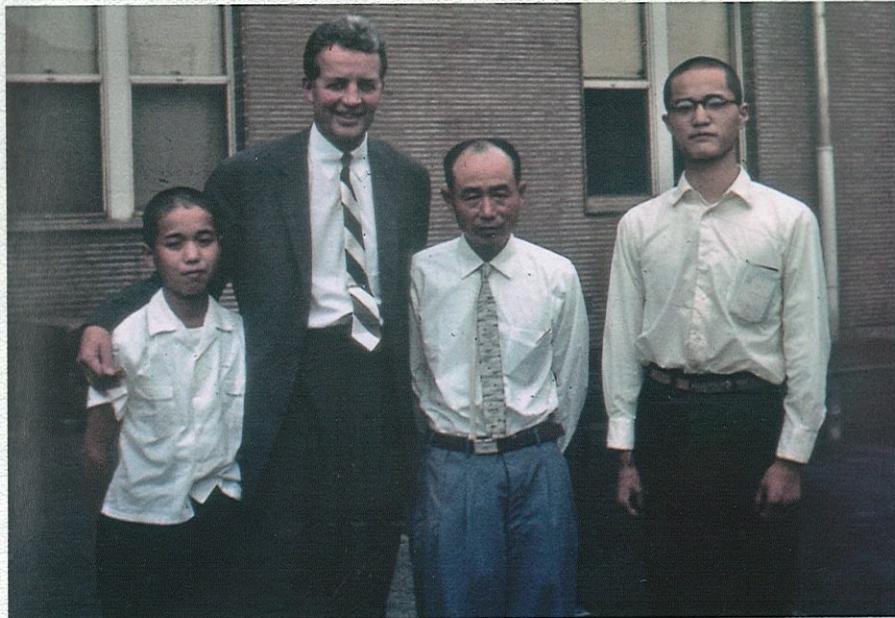


私の人生

徳増 公明



●表紙写真

右から私、父親の清成、Julie(ジュリイ)の
父親Biddle(ビドル)氏、弟の義章(1960年、
名古屋観光ホテル前で)

第二章
講演会原稿

私はW C R P 日本委員会「ストップ・核依存タスクフォース」のメンバーの一員で日本ムスリム協会の徳増公明と申します。

イスラームの立場からお話をさせていただきますが、もちろん道徳の面につきましては他の宗教とほとんど変わりありません。

さて、私たちにとって、一番大切なものは、命です。

クルアーンでは「人を殺す者は、全人類を殺したのと同じである。人の命を救う者は全人類を救ったのと同じである」と、命の大切さを教えていました。また、クルアーンで「誰でも皆死を味わう」と、述べているように、必ず死はやってまいります。しかし、命は神から与えられたもので、私たちは死を迎えるまで、命を大切に守る義務があります。他の命についても同様です。命を大切にしない者は、現世でも来世でも罰せられます。ましてや、一瞬にして多くの命を奪う、核兵器を使用することなどは絶対に許されません。

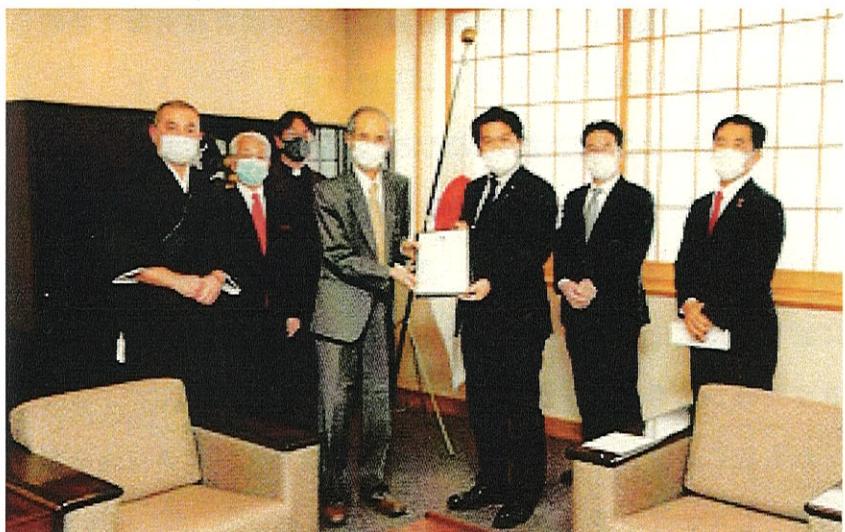
ところが、歴史を振り返ってみると、人間は互いに争い、殺し合いをしてきました。しかも、近年は、高度な武器を製造し、多量殺人を犯しています。

私たち宗教者は、人々に、そのような危険な核兵器の廃棄を訴えなければなりません。また、国益や国威発揚のため、核兵器を保有し、他国に脅威を与えようとする政治家の人たちに、強く訴

える必要があります。

国の政策は、国会議員が決めて実施するわけですから、国会議員に我々の決意を伝えることが肝心です。

昨年2021年1月26日、私たち日本委員会、ストップ核依存のメンバーは外務省を訪問し、鷲尾・外務副大臣と面談する機会がありました。W C P R 日本委員会が核軍縮・不拡散議員連盟と一緒に国連本部に提出するために作成した、核兵器廃止に向けた共同提言文を、副大臣へ手渡しました。そして、その提言文の内容について説明し協力をお願いしました。また今年（2022年）は、岸外務大臣と面談し協力をお願いしました。



鷲尾・外務副大臣に核兵器に向けた共同声明を渡す

特に国益や国威発揚のためと核兵器を保有し、他国に脅威を与えるようとしている政治家の人たちに、強く訴える必要があります。そして、私たちは神から与えられた英知によって、対話を通して、この問題を解決するよう努力すべきです。クルアーンでは対話の重要性について、次のように述べています。「人びとよ、われは一人の男と一人の女からあなたがたを創り、種族と部族に分けた。これは、あなた方を、互いに知り合うようにさせるためである。」

被爆国である日本は、先頭に立って行動を起こすことが重要です。米国の核に守られている日本ですが、米国国民も、核兵器に対する思いは日本国民と同じだと思います。日本政府は、自ら核兵器禁止条約に批准し、勇気をもって、米国政府に対して条約に向けた強い働きかけをして欲しいと思います。

9月21日～23日までWCRP主催の諸宗教平和円卓会議が東京で開催されました。「戦争を超える、和解」がテーマでした。国内外の様々な宗教指導者が一堂に会し、世界平和について率直に話し合いました。現在紛争中の国々ウクライナ、ロシア、ミャンマー等からも、出席がありました。

私もWCRP日本委員会、ストップ核依存・タスクフォースの一員として、オンラインで参加しました。

この円卓会議の最後に、声明文が発表されました。

私がこの会議を通じて、感じたことを、述べさせていただきます。現在世界で起きているコロナ感染、ウクライナ問題、環境破壊を、放置すれば地球と人類の滅亡という危機的な事態に発展することでしょう。こうした事態を招く主な原因は、人間の欲望による真理の欠如によるものであり、政治、経済を担う人たちの責任でもあります。宗教指導者は、人々の真理・良心を呼び起す任務を遂行しなければなりません。

これらの問題を解決するため当事国が話し合うには、国連や大国が仲介し、次の点に留意しなければなりません。

その1－領土拡大や、環境破壊の問題があつては、平和は訪れません。

その2－問題解決には、武力ではなく、対話でなくてはなりません。そして対話を成功させるためは、次の点に注意しなければなりません。

そして対話を成功させるためは、次の点に注意しなければなりません。

その1－他者の立場を尊重し、解決するための、条件、方法、を見出さなくてはなりません。

その2－宗教、国境、人種を乗り越えた、真理・良心に基づいたものでなくてはなりません。

その3－基本的人権・平等・自由を尊重したもので、なお理論的なものでなくてはなりません。

その4－お互いの慈悲や赦しと愛がなければなりません。

一方、この円卓会議の成果を、公表するだけではなく、実行しなければなりません。

実際に、この世界を動かしているのは政治家たちです。私たち宗教者は、この会議の成果を政治家たちに進言し、平和を希求し、かれらと一緒に、行動しなければなりません。

最後に、核兵器のない世界が一日も早くやってくることを、祈っています。

以上（2022年）